

## 区の相談支援体制について

## 1. 相談支援体制の現状について

## (1) 相談支援事業所及び相談支援専門員数（令和8年2月末現在）

区分	現況	内訳
相談支援事業所	11事業所	計画相談支援 11事業所 地域相談支援 2事業所 障害児相談支援 7事業所
相談支援専門員	44人	主任11人、現任18人、初任15人

## (2) セルフプラン率（令和7年3月末現在）

区分	受給者数	セルフプラン件数	セルフプラン率
成人	1,361人	82件	6.0%
児童 (18歳未満)	967人	678件	70.1%

## 2. 地域生活支援拠点及び基幹相談支援センターについて

いずれも令和6年の障害者総合支援法の改正により法定化され、相談支援体制における地域の中核的な機関として位置付けられている（各役割は別紙1のイメージ図を参照。）。

## (1) 地域生活支援拠点の概要

障害者（児）の障害の重度化、高齢化及び「親なき後」の生活を見据え、地域生活支援コーディネーターを中心に、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための切れ目のない支援を実施する機関。

## 【主な事業内容】

- ・365日24時間体制による相談対応
- ・親元からの自立や緊急時等を想定した体験の機会・場の提供

## 【実績（7年度実績はいずれも令和7年12月末現在）】

## ① 相談件数

	身体	知的	精神	その他	合計
5年度	7	526	14	6	553
6年度	8	666	118	7	799
7年度	7	385	64	11	467

## ② 支援内容

	緊急対応等	付添い	短期入所	傾聴・助言	調整	その他	合計
5年度	6	21	16	404	351	805	1,603
6年度	6	3	12	474	249	677	1,421
7年度	0	3	6	401	230	196	836

## ③ 短期入所（ショートステイ）稼働状況

年度	性別	体験		緊急		計	
		利用日数 (利用人数)	利用率	利用日数 (利用人数)	利用率	利用日数 (利用人数)	利用率
5年度	男	315日 (138人)	86%	36日 (10人)	10%	351日 (148人)	96%
	女	340日 (131人)	93%	24日 (8人)	7%	364日 (139人)	100%
6年度	男	394日 (174人)	108%	2日 (1人)	1%	396日 (175人)	108%
	女	411日 (167人)	113%	4日 (1人)	1%	415日 (168人)	114%
7年度	男	336日 (149人)	92%	6日 (3人)	2%	342日 (152人)	94%
	女	328日 (139人)	90%	2日 (1人)	1%	330日 (140人)	90%

※ 利用率 100%を超える理由：同日に1床に対して2名の利用がある計算となる（1泊2日の2日目が、別の方の初日利用日と重なる）ため。

## (2) 基幹相談支援センターの概要

地域の相談支援における中核的機関として、地域の相談支援体制の機能強化と専門性の高い支援体制の構築を図るため、相談支援事業所の後方支援及び地域の連携強化の取組を実施する機関。

## 【主な事業内容】

- ・相談支援事業所への障害種別に関わらない総合的な支援
- ・相談支援体制の強化及び支援の質の向上に向けた研修や事例検討会等の開催

## 【実績（7年度実績はいずれも令和7年12月末現在）】

## ①相談件数

	5年度	6年度	7年度
相談支援事業所	79	45	58
その他関係機関等	21	39	21
計	100	84	79

## ②支援内容

	5年度	6年度	7年度
助言	26	11	16
相談継続	56	44	26
事業所訪問	1	2	11
支援会議開催	2	11	3
関係機関連連携	11	5	11
サービス紹介	13	7	10
その他	39	89	36
計	148	169	113

## ③地域の相談支援体制の強化及び支援の質の向上に向けた取組

5年度	6年度	7年度
○研修 計4回 「目黒区の障害者（児）の虐待ケースに向けた取組」等 ○事例検討会 計2回	○研修 計5回 「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン研修」等 ○GSV（グループスーパービジョン）計2回 ○チームSV 計7回	○研修 計5回 「みんなで考えよう！知的障害のある方が地域で暮らし続けるために必要なものは？」等 ○事例検討会 1回 ○GSV（グループスーパービジョン）計2回 ○チームSV 計9回